豊岡市議会議員（豊義会）九州視察研修報告書

1. 目的

人口減少や地域経済の縮小が進む中、各自治体においては観光を核とした地域活性化や、関係人口の創出を目的とした多様な取り組みが展開されている。

中でも、大分県豊後高田市では、第三セクターである 豊後高田市観光まちづくり株式会社を中心に、官民連携による観光振興と中心市街地活性化を一体的に推進し、成果を上げている。

本視察では、同社の設立経緯、事業内容、行政との役割分担等を学ぶことにより、豊岡市における観光施策やまちづくり、関係人口創出の参考とすることを目的とする。

2. 日時・場所

2026 年 2 月 10 日（火）15 時 00 分～16 時 30 分　豊後高田市（昭和の町周辺／観光拠点施設）

3. 出席議員

米田達也（幹事長）、小森弘詞（副幹事長）、中尾浩二（会計）、岡本昭治
芹澤正志、森垣康平、前田敦司、荒木慎大郎、青栁順子

4. 対応者

豊後高田市観光まちづくり株式会社

5. 内容

⑴ 豊後高田市の概要

豊後高田市は大分県北部に位置し、人口は約 2 万 2 千人の市である。
かつては中心市街地の空洞化が進んでいたが、「昭和の町」事業を契機として、観光を軸に地域再生を進めてきた自治体である。

⑵ 観光まちづくり会社設立の経過と目的

豊後高田市観光まちづくり株式会社は、市が主体となって設立された第三セクターであり、観光振興のみならず、中心市街地の活性化、交流人口・関係人口の創出を目的としている。
行政単独では対応が難しい、柔軟で機動的な事業運営を可能とするため、会社組織として設立され、官民の役割分担を明確にしながら事業を展開している点が特徴である。

⑶ 主な事業内容

同社が担っている主な事業は以下のとおりである。
① 昭和の町エリアの運営・管理
② 観光案内所の運営および観光情報発信
③ 観光イベント・体験型コンテンツの企画・実施

④ 商店街や地元事業者との連携によるにぎわい創出
⑤ 観光人材の育成および受入体制の整備
⑥ 関係人口創出に向けた交流事業
特に、観光を「一過性の集客」に終わらせるのではなく、地域との継続的な関係づくりへとつなげる視点で事業が構成されている点が印象的であった。

⑷ 行政との役割分担と運営体制
行政は全体方針や制度設計を担い、実務的な運営や企画、現場対応については同社が担う体制が構築されている。
これにより、スピード感のある事業展開が可能となり、現場の声を即座に施策へ反映できる仕組みが整えられている。

6. 所感

今回の視察を通じて、観光施策を「まちづくり」と一体で進める重要性を改めて認識した。特に、第三セクターという形態を活用し、行政の枠にとらわれない柔軟な事業運営を行っている点は、豊岡市にとっても大いに参考となる。

また、観光客の増加だけを目的とするのではなく、地域との継続的な関係を築く関係人口の創出に力を入れている点は、人口減少が進む中山間地域を多く抱える豊岡市においても応用可能であると考える。

今後は、豊岡市においても、官民の役割分担を明確にした組織体制の検討や、観光と定住・関係人口施策を連動させた取り組みについて、具体的に検討していく必要があると感じた。